タイトル	里山林の学校教育利用	
概要	里山を学校教育の授業プログラムに活用する。	
管理方法·技術的 視点	学校の裏山(コボ山)を活用し、地元林業グループと連携を図りながら、整備や森林・林業教育の場としている。 これまでに次の活動を行ってきている。 ・樹木名板の設置 ・案内看板の製作と設置 ・ガイドブックの作成 ・ベンチの製作 ・危険な古損木の処理 ・落ち葉の滑り台の整備 等。現在はこれらに加えて ・学習広場の整備 ・椎茸、なめこ、ひらたけの栽培 ・小屋の製作 ・植樹などの体験的活動の他、コボ山や近隣に成育する樹木や昆虫などについても学習を進めている。以上を3・4年生を中心とした総合的な学習の時間に位置づけ活動を実施すると共に、地元林業グループと連携して取り組むこととしている。それ以外にも全校児童が業間運動として体力作りの一環として山登りをしたり、休み時間に落ち葉スキーをしたりするなどして活用している。また、いくつかの登山道や広場、展望台などが整備されつつある。	
備考	学校裏の里山林での活動を総合学習に位置づけ、本巣林研クラブ(本巣市の林業グループ)と連携して、継続的にコボ山の整備や森林・林業教育実施。多くの人がコボ山に目を向け、自然の中で楽しく過ごせるように標識の製作、設置など、コボ山の利用促進に向けた取り組みを行っている。	学習の場として、広場を整備。ベンチやテーブルが設置されている。
場所•主体	岐阜県本巣市 外山小学校・本巣林研クラブ	
URL等	http://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson/pdf/ 21 21-218motosu.pdf	